

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 研究課題番号 | 4-1906                          |
| 研究課題名  | 共創時代における地域資源としての国立公園の保全管理モデルの構築 |
| 研究実施期間 | 令和元年度～令和3年度                     |
| 研究機関名  | 東京大学                            |
| 研究代表者名 | 山本 清龍                           |

#### 1. 委員の指摘及び提言概要

さまざまなタイプの国立公園の中から2か所に絞った調査にもとづき、支払意思額（WTP）曲線が得られたこと、公園利用者が希望する基金の徴収方法と使途等について詳細なデータが得られたことなどが評価される。他のタイプの国立公園に関しても同様のアプローチで保全管理モデルの構築が可能なのか明らかにし、公園規模に基づく基金規模に応じた基金活用の提案も期待する。国立公園利用による経済効果が試算できたことは重要な成果と評価する。イエローストーン型の公園と日本型の地域密着型の差異がどこまで言えるのかについては、日米研究者などを交えて総合的な議論を行うことを期待する。今後の研究推進と、当該成果を行政が理解をして発信していくという連携につなげてほしい。

#### 2. 採点結果

評価ランク：A